

着物で秋田自慢を 世界へ

[秋田市観光クチコミ大使]

和装美女連 百瀬 和氏

初めてお目にかかる方には、着物の百瀬ですと自己紹介する。クチコミ大使にご推薦いただいたことも、首都圏でのイベントや省庁主催の海外貿易展示会などで、自主的に秋田県の物産紹介を、着物を用いて行っていた活動を評価いただいたのかと思います。

時間や経費を費やし、なぜ海外にまで出向くのか、不思議に思われる方も多いのですが、理由は単純で、秋田には親兄弟、友人等大事な人が居るから。そして、秋田の豊かな自然や風土、人々の優しさが大好きで、私にとっては何処でも誰にでも、自慢したいことだからなのです。

○おらが秋田の自慢活動

～主な海外活動～

2013.7 フランス JAPAN EXPO

- ・ さきがけエコバックによる秋田観光紹介
- ・ 銀線細工・秋田黄八丈小物紹介

2013.11 インド INDO TRADE FARE

- ・ 370万人来場
- ・ ジャパンパピリオンステージにて着物の紹介と着付け実演
- ・ 農水省ブースでのアテンド

2014.2 ベトナム ホーチミンEAON

- ・ 経済産業省主催クールジャパン農水省ブースイベント
- ・ 秋田米のおにぎり講習会、もちつき実演

～主な国内活動～

- ・ 青山祭りワールドパレードにて秋田県チームとして着物女性を集め、秋田美人・秋田米・ダリアの宣伝
- ・ 鎌倉古民家でのイベント開催。山菜、秋田の農産物、お酒で秋田宣伝
- ・ 新宿ゴールデン街でのイベントにて、いぶりがっこ、じゅんさい等紹介
- ・ 東京都内レストランで秋田の酒会開催

これらの活動は、すべて日本の象徴としての着物と絡めることで、秋田県の提唱する「高質な田舎」を表現出来たと自負しております。世界では今まさに空前の和食ブーム。美味しい秋田の産物は今後どんどん海外でも喜ばれることでしょう。嬉しい限りと思っています。

さて、今後の活動ですが、今年度は秋田で本業の薬剤師として、医療での社会貢献を目指して在宅医療に関する修行をしています。高齢者医療費削減や、医師不足に悩む過疎地等、問題は山積みかも知れませんが、些かなりと故郷のお役に立てることがあればと思っています。そして、医療多業種連携やIT化による医療ネットワークの構築、医療ツーリズムへの発展等、期待は大きく、私の夢はさらに広がっています。

これからも秋田市観光クチコミ大使として、「着物で秋田自慢」も継続しながら、医療分野での活動に力を入れて参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻をいただきましたようお願いいたします。



2013年インドで秋田をPR。
百瀬氏(中央)。

■略歴 1962年 秋田市土崎生まれ
秋田県立秋田高等学校卒業
北里大学薬学部卒業
外資系製薬会社勤務後、結婚(夫:東京大学医学部
附属病院放射線科准教授)
百瀬医院(義母院長)および近隣保険調剤薬局勤務。
一男一女の母。
現在:秋田大学医学部附属病院薬剤部勤務